




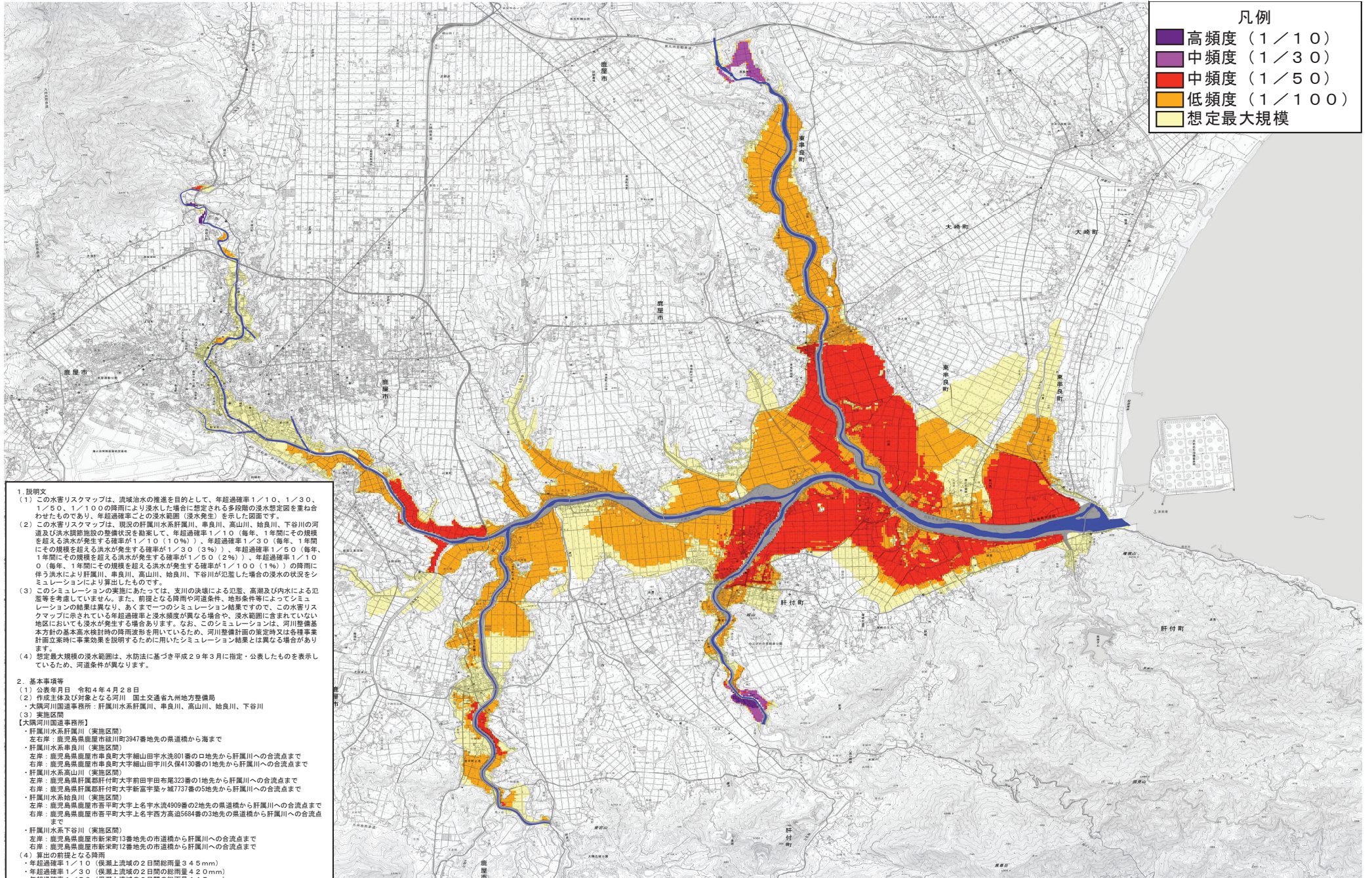


肝属川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示

凡例	
	高頻度 (1/10)
	中頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	低頻度 (1/100)
	想定最大規模



1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
 - この水害リスクマップは、現況の肝属川水系肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川に氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等も考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検計時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年4月28日
 - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 - 大隈河川国道事務所：肝属川水系肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川
 - 実施区間
 - 【大隈河川国道事務所】
 - 肝属川水系肝属川（実施区間）
左右岸：鹿児島県鹿屋市絨川町3947番地先の県道橋から海まで
 - 肝属川水系串良川（実施区間）
左岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田字水尻801番の口地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田字川久保41番の1地先から肝属川への合流点まで
 - 肝属川水系高山川（実施区間）
左岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字前田字田布尾323番の1地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字新富字架ヶ城7737番の5地先から肝属川への合流点まで
 - 肝属川水系始良川（実施区間）
左岸：鹿児島県鹿屋市吾平町大字上名字水尻4909番の2地先の県道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市吾平町大字上名字西方高迫5684番の3地先の県道橋から肝属川への合流点まで
 - 肝属川水系下谷川（実施区間）
左岸：鹿児島県鹿屋市新栄町13番地先の市道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市新栄町12番地先の市道橋から肝属川への合流点まで
 - 算出の前提となる降雨
 - 年超過確率1/10（候潮上流域の2日間の総雨量34.5mm）
 - 年超過確率1/30（候潮上流域の2日間の総雨量42.0mm）
 - 年超過確率1/50（候潮上流域の2日間の総雨量44.5mm）
 - 年超過確率1/100（候潮上流域の2日間の総雨量49.0mm）
 - 河道条件：現況
 - 関係市町村 鹿屋市、東串良町、肝付町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。